



人口減少・少子高齢化に対応した持続的発展が可能なまちづくりを 未来に希望の持てる枚方をつくります

今の公共サービスや社会保障制度は、次世代に負担を先送り（借金）することで成り立っています。枚方市では毎年60億円ほどの赤字地方債を発行し、その累積残高は600億円を超え、今後も増加の一途をたどると予測されています。

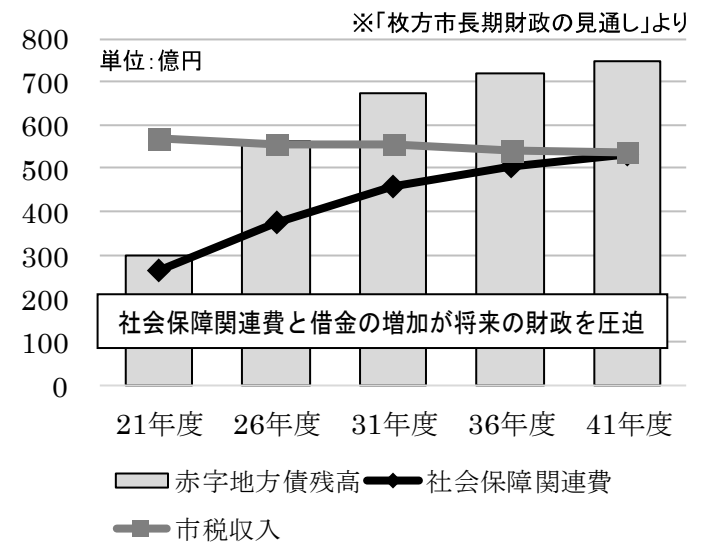
30年後には人口が2割減少し、高齢者の割合が35%を超えるとされ、今後、人口減少・少子高齢化に伴う税収の減少や、社会保障にかかる経費の増大など、市政を取り巻く状況は一層厳しくなっています。

人口や税収が、右肩上がりとなることを前提とした高度経済成長時代のまちづくりは、既に限界にきています。今こそ、人口減少社会に対応した「持続的発展が可能なまちづくり」への大きな転換が必要です。

そのためには、まず政治・行政のこれまでの仕組みや役割、税金の流れを見直すとともに、ムダを省くなどの行財政改革を徹底的に進め、効果的・効率的な行政運営を行っていくこと。

さらに行財政改革により生み出した財源により、災害対策や福祉、医療などのセーフティネット機能の強

く枚方市の市税収入、社会保障関連費、赤字地方債残高の推移



化をはじめ、教育や子育て支援の充実など現役世代への投資を図ることで、定住人口の確保・人口誘導につなげ税収の安定を目指していくことが必要です。

人口減少・少子高齢化社会にあっても「未来に希望の持てる枚方」の実現に向け、既存の政治・行政の仕組みの改革に全力で取り組んでいきます。

徹底した行財政改革 改革で財源を生み出し市民サービスの充実に図ります

民間活力の導入等による効果的・効率的な業務を推進

民間に任せられた方がサービス向上・経費縮減につながる事業や、既に役割を終えた事業などを見直すとともに、収入の確保に取り組んでいきます。

また、AI（人工知能）やRPA（ロボットによる業務自動化）等の新技術を積極的に活用することで、小さくても仕事ができる市役所をめざします。

- ▼年功序列から責任と処遇の一致する人事・給与制度への改革
- ▼技能労務職員の給与水準の適正化
- ▼ごみ収集業務や学校給食調理業務等の民間委託推進
- ▼公立保育所の民営化推進
- ▼指定管理者制度の拡大及び競争性の確保
- ▼公共施設の適正化
- ▼市有財産の有効活用
- ▼未収金対策の強化
- ▼AIやRPA等の新技術の活用で効果的・効率的な市役所業務の推進 など

安全・安心なまちづくり

- ▼避難所のユニバーサルデザイン化を促進
- ▼防災備蓄品の充実
- ▼避難所運営の人材育成
- ▼住宅の耐震化促進
- ▼横断歩道の設置など通学路の安全対策の強化
- ▼防犯カメラの増設
- ▼市民・民間事業者との協働による防災・防犯体制の確立
- ▼防災・防犯の担い手となる地域人材の育成 など

教育・子育て支援の強化

- ▼小学校全学年で1学級30人以下の少人数学級編成を推進
- ▼タブレット端末などICT機器の活用を推進
- ▼塾や習い事等に利用できる教育パウチャー券の配布
- ▼幼児教育・保育の無償化
- ▼公共施設を活用した待機児童対策の推進
- ▼休日保育や病児保育など特別保育事業の拡充 など

保健・医療・福祉の充実

- ▼がん検診の受診率向上（民間事業者のノウハウを活用）
- ▼民間事業者と連携しての外出支援事業の推進
- ▼障がい者雇用奨励金制度の創設
- ▼まちなかAEDの設置推進・普及啓発
- ▼認知症予防施策の推進
- ▼認知症高齢者の事故救済制度の創設
- ▼成年後見制度利用支援事業の拡充 など